4

朝宮小学校

令和5年度　我が校の学ぶ力向上策

【市町　目標】
〇「読み解く力」向上を図るための授業開発、実践の推進を図る。
〇「主体的・対話的で深い学び「個別最適な学び」のツールとしての効果的なICT活用の促進を図る。
〇いじめを許さず、支え合い学び合う集団を育てる学級、学校づくりの充実を図る。

【学校　目標】
たくましい心身と郷土への誇りを持ち、未来を切り開く
「自ら学び　心豊かで　たくましい子どもの育成」進んで学ぶ子(わくわく)　やさしい子(にこにこ)　たくましい子(どんどん)

【現状と課題】
〇視点１　児童一人ひとりが真面目に課題に取り組むことができる。国語科においては、基礎基本の知識・技能の定着が十分でない児童が少なくない。
〇視点２　良好な人間関係が築かれており、小規模校ゆえに一人ひとりの活躍の場が多い。多様な考えが出にくく、学びの広がり、深まりが十分とは言えない。
〇視点３　全職員全担任の意識で共通理解して取り組んでいるが、授業づくりや生徒指導の共通実践は焦点化されていない。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況　90%以上→A　70%以上90%未満→B　70%未満→C　　時期→1回目:9月　2回目:2月】

【視点１】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
〇児童一人ひとりの学びを正確に見取り、学習支援計画を作成し、教育支援ソフト等を活用しながら基礎的・基本的知識・技能の定着を目指す。	・授業ごと、単元ごとの児童の振り返り・アンケート・テストの結果		
	・授業や学習活動の様子の観察		
	・学校評価（児童、保護者、教職員）		

【視点２】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
〇個々の児童のめあてを明確にして特色ある教育活動（茶の栽培、土の作品作り等）、行事の取組に臨む。 〇他校との遠隔交流を推進する。	・単元、行事ごとの児童の振り返り、アンケートの結果		
	・授業や学習活動の様子の観察		
	・学校評価（児童、保護者、教職員）		

【視点３】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
〇会議日を効果的に活用し、短時間の研修・ケース会議、部会による協議を増やし、OJT研修の推進と職員間の連携強化に努める。	・校内研究会、OJT研修での意見集約、校長面談		
	・学校評価（児童、保護者、教職員）		
	・授業ごと、単元ごとの児童の振り返り、アンケートの結果		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。
・4月　職員会議で、学ぶ力向上推進リーダーが、「学ぶ力向上策」について説明し、研究計画について提案する。
・5月　授業研究会　共通実践を行うため、校内研究会で単元計画や事前準備についての共通理解を深める。
・7月～12月　授業研究会（一人1回の授業公開と考察）
・8月　「学びの系統性」を意識し、「個に応じた指導・支援」を目標に、2学期の学習計画・指導計画を見直し、改善する。
・9月　学校だよりで保護者や地域に取組を発信する。
・1月　授業研究会　　研究協議　指導助言
・2月　研究の成果と課題の検証を行う。
※通年　学ぶ力向上推進リーダーを中心にOJT研修等で若手教員の授業力向上を図る。
※外部講師を招聘し、助言をもとに取組の検証・改善を行う。

今年度の取組の成果と課題